

支 部 情 報

柳井支部

地域とともにある学校づくり

柳井支部校長会は十一校で構成されている。未来の社会をたくましく生き抜くために必要な人間力、社会力や確かな学力を身につけた児童の育成をめざして、学校・家庭・地域社会による共同体として地域の特性を生かした特色ある学校づくりに努めている。このことは、今まで本市が進めてきた「地域との協働で児童を育てる」コミュニティ・スクールから「地域から学び、学校に還元する。そして学校から学び、地域に還元する」という双方向の関係づくりにもまで踏み込んだスクール・コミュニティの推進を図ろうというものでもある。

そこで年間十一回の定例研修会のうち、五回の各校持ち回りの研修会では、会場の学校・家庭・地域社会による共同体としての特色ある学校経営の紹介



を行っている。各学校の郷土の歴史・伝統や自然を生かした教育活動、地域の人々との交流による学びなど、地域の特性を生かした双方向の学校運営の実態を知ることができ、自校の学校運営の参考になっている。その一部を紹介する。

柳井小学校では「商都柳井に培われてきた歴史・文化・自然の教育素材や地域人材と連携したキャリア教育の推進」をテーマに商工会や市役所、観光ボランティアと連携した地域学習等に取り組んでいる。学習の成果は、金魚ちょうちん祭りや柳井祭りに様々な形で参加したり、六年生がちびっ子屋台を出店し、特産品を販売したりするなどして、地域に還元している。

大島小学校では「地域の伝統・文化を継承し、先人を敬愛しつつ地域とともに歩む学校の創造」をテーマに古くから地域に伝わる「剣舞」や「和太鼓」を地域の伝承者に指導していただき、運動会で披露している。また、「鯛提灯」や「注連飾り」制作にも取り組み、伝統を引き継いでいる。

柳井支部では今後さらに、地域の特性を生かした地域とともにある双方向の学校経営の推進のために、協議や情報交換を大切にし、本市の児童の夢を育んでいきたいと考えている。

(平郡東小学校 湊谷道彦)

支 部 情 報

支 部 情 報

周南支部

信頼と期待にこたえ、夢をかなえる学校づくりをめざして

周南市小学校長会は、徳山市・新南陽市・熊毛町・鹿野町の合併により、平成十六年度に誕生した。今年度は、大規模校八校、中規模校十四校、小規模校六校の計二十八校で構成されている。

毎月の校長会では、今日的な学校経営上の諸問題に対して、校長会全体の連携を図りながら市内小学校教育の質の向上に努めている。研修は研究部が中心となり、全国大会発表に向けての研究、外部講師による講演、課題研修、学校紹介を計画している。

全国大会に向けては、「豊かな人間性を育むカリキュラムマネジメント」を研究課題として、道徳教育の充実に向けた校長のリーダーシップについて研究に取り組んでいる。「校内体制推進部」「授業活性化研究部」「家庭・地域連携部」「調査研究部」の四部分かれて、会員全員で研究推進にかかわるようにしている。また、研究推進委員会が各部の調整を行うことで、共通理解も図られ、研究が共同実践であること意識も高まっている。

外部講師による講演は、「道徳教育の充実と校長の役割」をテーマとして二回行う予定である。

課題研修は、今日的教育課題への対応をテーマとしており、今年度は、人材育成、学力向上、コミュニティ・スクールの推進を計画している。

学校紹介では、特色ある学校運営を展開している経験豊かな校長の実践発表を行っている。学校運営はもとよりその人となりも伺うことができ、大変有意義で楽しみな研修となっている。本校長会は三十名近い大所帯ではあるが、今後も連携を図って共同実践を進めていきたいと考えている。



(湯野小学校 田中潤子)